

エルサルバドル・ジャズ・フェスティバル出演顛末記

私、川島茂と妻の眞理(芸名は豊岡まり)は、2015年、2月23日～3月1日の日程で、エルサルバドル・ジャズ・フェスティバル、国立芸術センターでのワークショップ、MARTE(エルサルバドル美術館)での大使館主催コンサートに出演のため、中米のエルサルバドルを訪問しました。

なにしろ、まずエルサルバドルに行くのが大変です。とにかく、『成田空港から23時間！？』ですからね。もうそれだけで、エッセイの1つも書けそうです。

まあ、とにかく、エルサルバドルの首都のサンサルバドルに到着しました。何時か忘れましたが、結構夜でした。

まずは駐エルサルバドル日本大使公邸へ。滞在期間中、会議のため大使は不在のため、奥様が出迎えて下さいました。10分ほど会談したのち、ゲストルームで就寝しました。



2日目は、朝はゆっくり起床。プールのある中庭で、大使夫人お手製のおいしい朝ごはんを頂きました。

その後は、大使館を表敬訪問。屋上で記念撮影することになりました。

後ろには、エルサルバドルの富士山と言うべき、象徴的な火山だそうです。名前は聞いたけど忘れました。

そうそう、エルサルバドルって、中米の国だから、首都のサンサルバドルも、海辺にあり、とても暑いと思われがちですが、実は、気候的には標高660mの高地にあって、とても過ごしやすいです。日本で言うと、軽井沢みたいな感じです。



お昼ご飯は、エルサルバドルの方に愛されている料理、ププサを食べに、地元のおしゃれなレストランに。

ププサというのは、トウモロコシの粉をお好み焼きみたいにして焼いた食べ物で、チーズや豚肉、地元の野菜などを具にしてます。地元では主食として食べられています。とてもおいしかったです。通常はレストランではあまり提供されず、屋台…というか路上で鉄板で焼いたものを売っています。さすがにそれを試す気にはなれませんでした。

僕は3枚も食べてしまいました。

午後は、明日から出演する3つの会場を下見しました。ワークショップを行う国立芸術センター、ジャズ・フェスティバルが行われる国立宮殿、大使館主催コンサートを行う MARTE(エルサルバドル美術館)の3か所です。

その後は、午後4時頃公邸に戻り、しばらく休んだ後、大使夫人と3人で、夕食を頂きました。とても楽しい時間で、明日からの鋭気を養う事が出来ました。



3日目です。現地時間で25日、いよいよ本番の日がやって参りました。

この日の予定は、テレビ出演とジャズ・フェスティバル本番。

まずはテレビ出演。朝6時30分起床…とは言っても、時差ボケのため、それほどきつくは無かったです。そして、色々準備をして、8時半には公邸を出発。

9時には到着、リハーサルもそこそこに、いきなり本番でした。

エルサルバドルの人気司会者の朝の情報番組との事で、夜のフェスの宣伝も兼ねたインタビュー〜1曲演奏でした。



夜はいよいよ、国立宮殿の中庭にて、野外ステージでした。

この写真は、夕方のリハの時のもの。

ほどなくして本番、19時からでしたが、もう外は真っ暗。とてもいい感じでした。

1ステージ目は、僕のピアノ・ソロ。休憩を挟んでの2ステージ目は、まりさんとのデュオのユニット『Marie-Style』での出演でした。客席は、立ち見が出るほどの大盛況でした。

終演後は、お客様と記念写真大会。記念撮影自体は20分くらいずっと続いてました。何枚撮ったんだろう？数えてないけど、100枚以上は確実に撮ってますね。

セットリスト(エルサルバドル・ジャズ・フェスティバル@国立宮殿)

1set 川島茂ピアノ・ソロの部

1. Beautiful Love (スタンダード)
2. 砂山(中山晋平)
3. 八戸小唄(民謡)
4. I Remember Clifford (スタンダード)

5. 荒城の月(滝廉太郎)
6. Strawberry Fields Forever ~ Somethnig (The Beatles)
7. I Love As Excepted (川島オリジナル)
8. Crazy Samba (川島オリジナル)

2set Marie-Style【豊岡まり(vo)+川島茂(p)】

1. ハナミズキ (一青窈カバー)
2. Agua De Beber (ボサノバ・スタンダード)
3. Over The Rainbow (スタンダード)
4. 涙そうそう (ビギン)
5. Cheek To Cheek (スタンダード)
6. 浜辺の歌 (作詩：林古溪、作曲：成田為三)
7. Lately (Stevie Wonder)
8. となりのトトロ (久石譲)

アンコール ふるさと(高野辰之作詞・岡野貞一作曲)

いよいよ4日目。

この日は、国立芸術センターでのワークショップと MARTE(エルサルバドル美術館)での日本大使館主催コンサートです。



国立芸術センターでのワークショップでは、エルサルバドルの若いミュージシャンの皆様と一緒に演奏する中で、みんなで一緒にグルーブする事を中心に、学べたのでは…と思います。個性的なミュージシャンも多く、本来講師であるはずの自分も、とても楽しい時間を過ごしました。

夜は、いよいよ最後のお仕事、「日本大使館主催コンサート」へ。



場所は、MARTE(エルサルバドル美術館)のホール。国立なのかどうか分かりませんが、立派な建物でした。国立芸術センターとは大違い。開演前から外には人が並んでいました。また、エルサルバドル生花協会の方が、きれいなお花を活けて下さいました。会場は、予定の200名を超える250名様のお来場があり、急遽座席数を増やしての対応で、立ち見なしで座って聴いて頂きました。

セットリストは、1日目のジャズ・フェスティバルとほぼ同じにしました。

フェスの方は、なんか、とんでもないエネルギーが充満している感じでしたが、大使館主催コン

サートの方は、どこことなく落ち着いた雰囲気、しっかり聴いて下さる感じでした。リスナーの方は、ほぼエルサルバドルの方だったのですが、ちょっと日本人ぽい感じです。

とはいえ、最後はスタンディング・オベーションで拍手をして下さいまして、きれいなお花も頂いてしまいました。

終演後は宿舎でもある大使公邸へ。

この日のライブを聴きに来て下さった、大使夫人が一足先に帰宅し、おいしいお料理と、特別なスパークリングワインをご用意して待っていて下さいました。

この夜はもう1本赤を空けて、お開きとなりました。

5日目は、滞在期間中唯一の休日、たっぴりと楽しみましたが、スペースに余裕がないので割愛します。

現在、私と眞理は、東京の墨田区で『Music Salon PIANITY』という音楽のお店を運営しています。

色んなアーティストのライブや、ボーカルセッションと言って、プロ、アマチュア問わず、多くの歌手の人が歌いに来るイベントも開催いたしております。



また、私と豊岡まりの音楽ユニット『Marie-Style』は最近オリジナル曲中心に活動しており、昨年の12月22日には、初の全曲オリジナル作品で固めた、4 t h アルバム『earthling』を発表致しました。

東京にお越しの際は、是非とも『Music Salon PIANITY』そして Marie-Style のライブの方に足をお運び下さいね。よろしく願いいたします。

川島 茂(かわしま しげる)氏

ジャズ・ピアニスト。

大卒後一度は就職するが、夢を捨てきれず、ジャズ・ピアニストに転身。

年間 300 本以上のライブをこなす一方、自身のCDを 10 枚以上、著作を 20 冊以上発表。

2017 年には、自身がオーナーの店、東京墨田区に『Music Salon PIANITY』を開店。

現在も、精力的にライブ活動をこなす。